



Hata's デンタルクリニック

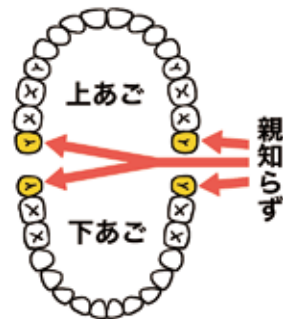
お口に健康を、
心に笑いを



忙しい毎日、自分の体、特にお口の中のケア、できていますか？
大阪府堺市で歯科医院を経営している畑崎先生が、
先生方の健康に役立つ情報をお届けいたします。

第9回

親知らずは、抜いた方がいいの？



これは、歯科医以外の友人から一番多く聞かれる質問です。

そもそも「親知らず」とは、歯の本数が正常にある場合、真ん中の歯から数えて8本目（正式名称は第3大臼歯）の歯のことです。

これをなぜ「親知らず」と呼ぶのかには諸説ありますが、昔は、この歯が生えてくる16〜18歳ころの時期には、親がもう他界している事が多かったことから、この名前がついたと言われています。

長寿社会になった今では、親の仕上げ磨きが終わる12〜13歳以降、いつ生えてきたか「親が知らない」ことから、そう呼ば

れるようにもなりました。

さて、本題に戻って、「抜いた方がいいか」ですが、私の結論は、「ちゃんと歯ブラシが親知らずに届いて、虫歯にならなかつたら抜かなくていい」です。

ただ、日本人は顎が小さく、親知らずがまつすぐ生えている方は、ごく稀です。横向きだったり、完全に生えずに途中で止まっていたり……。

そんな場合は、親知らずとその手前の歯の間が虫歯になるなど、悪い事が起こりますので、抜いたほうがいいと思います。

一度大きく「ア~~~~ン」してお口の中を見てみましょう！
先生方の親知らずはどんな生え方をしているでしょうか？

